

男女共同参画セミナー

シリーズ 家族ってなあに？～「家族」から「かぞく」へ～ を開催しました

平成30年度の男女共同参画セミナーでは「家族」をテーマにしました。家族の姿が変わってきているのに、従来からの家族の規範が残り、制度や政策が多様な家族の現状に対応できていない現実があります。いま、家族とはなにかを考える講座を実施しました。

Part1 10月6日(土)「家族」という呪縛—社会が強いる規範

講師：杉山春さん (ルポライター)



【内容】

- ・ルポライターである講師が、児童虐待・ひきこもり等の事例について語り、家族の問題が社会的な問題であることを解説しました。

【感想】

- ・虐待が行われる背景について、取材と自らの子育ての経験を通して、お話をしていただいたので、とても分かりやすく伝わりました。
- ・日本の家族という形が変わっていかねばならないなと感じるとともに、変わっていく家族のあり方を支援できる体制が整っていないのも、問題であると感じました。

●参加者 46人

Part1 10月28日(日) 新しい「かぞく」のカタチを求めて

講師：永田夏来さん (兵庫教育大学講師)



【内容】

- ・講師が近代以降の家族を歴史的に振り返りながら、多様な「かぞく」のカタチを紹介し、今後の家族のあり方について考察しました。

【感想】

- ・私達が何となく今まで通りではない社会が来ていると漠然と感じていたことをわかりやすく教えてもらいました。
- ・いろんな家族の形がある、それが自然になるようになりたいですね。
- ・家族の歴史的経緯が少しわかった。多様化する家族のあり方を理解しました。

●参加者 31人

※両日ともに、開催時間：14:00～16:00 開催場所：「ほっと越谷」セミナールーム